

# 【東京下町巡り(深川不動尊～南千住)ハイキング】

2023年11月26日(日)

## ■往路

| 乗車・乗換駅     | 発時刻  | 着時刻  |      |
|------------|------|------|------|
| 草加(日比谷線利用) | 8:00 | 8:37 | ¥470 |
| 茅場町(東西線利用) | 8:45 | 8:47 |      |
| 門前仲町       | 47分  |      | ¥470 |

## ■コースタイム(見学時間を含む標準の1.2倍)

| チェックポイント   | 時刻    | 所要時間 | 1.2  |
|------------|-------|------|------|
| 門前仲町       | 9:00  | -    |      |
| 深川不動尊      | 9:06  | 0:06 | 0:05 |
| 富岡八幡宮      | 9:32  | 0:26 | 0:22 |
| 間宮林蔵の墓     | 10:08 | 0:36 | 0:30 |
| 清澄庭園       | 10:20 | 0:12 | 0:10 |
| 清澄白河       | 11:07 | 0:46 | 0:39 |
| 蔵前         | 11:13 | 0:06 | 0:05 |
| 待乳山本龍院     | 11:42 | 0:28 | 0:24 |
| 今戸神社       | 12:00 | 0:18 | 0:15 |
| 隅田川テラス(昼食) | 12:21 | 0:21 | 0:18 |
| 昼食         | 13:03 | 0:42 | 0:35 |
| 白髭神社       | 13:27 | 0:24 | 0:20 |
| 向島百花園      | 13:43 | 0:15 | 0:13 |
| 石浜神社       | 14:25 | 0:42 | 0:35 |
| 南千住        | 14:57 | 0:32 | 0:27 |
| 所要時間合計     |       | 5:57 | 4:58 |

## ■ハイキング途中で鉄道利用

| 乗車・降車駅 | 発時刻   | 着時刻   |      |
|--------|-------|-------|------|
| 清澄白河   | 11:07 | 11:12 |      |
| 蔵前     | 5分    |       | ¥178 |

## ■復路

| 乗車・降車駅 | 発時刻   | 着時刻   |      |
|--------|-------|-------|------|
| 南千住    | 15:05 | 15:24 | ¥439 |
| 草加     | 19分   |       | ¥439 |

交通費合計: ¥1,087

入園料: 清澄庭園、  
向島百花園共@150\*2      ¥300  
但し65歳以上の方は@70

合計: ¥1,387

## 2.「蔵前」駅～「南千住」駅



## 1.「門前仲町駅」～「清澄白河駅」



●参加者: 14名

(女性)9名:

加藤(栄)、原、小林、大畑、森、小坂、上野、中島、高橋

(男性)5名:

小野寺、北爪、高原、池澤、笠原



## 【ハイキングーロメモ】

【深川不動尊】大本山成田山新勝寺の東京別院です。古くより「深川のお不動様」と親しまれて参りました。その開創は元禄16年と伝わり、成田山の御本尊を江戸に奉持し特別拝観したことに始まります。この御尊像は、弘法大師自らが敬刻開眼されたと言われており、深川不動堂で奉祀する御本尊はその御分霊を勧請した、御分身であります。

【富岡八幡宮】寛永4年(1627年)、当時永代島と呼ばれていた現在地に創建されました。周辺の砂州一帯を埋め立て、社地と氏子の居住地を開き、総じて60,508坪の社有地を得、「深川の八幡様」と親しまれ、今も昔も変わらぬ信仰を集める「江戸最大の八幡様」です。江戸時代には、源氏の氏神である八幡大神を殊の外尊崇した徳川將軍家の手厚い保護を受けました。

【清澄庭園】泉水、築山、枯山水を主体にした「回遊式林泉庭園」です。この造園手法は、江戸時代の大名庭園に用いられたものですが、明治時代の造園にも受けつがれ、清澄庭園によって近代的な完成をみたといわれています。この地の一部は江戸の豪商・紀伊國屋文左衛門の屋敷跡と言い伝えられています。

【待乳山】境内各所に印されてあります巾着や大根は、御信心をされて祈願することによって得られるその御利益を端的に表したものです。大根は身体を丈夫にいただき、良縁を成就し、夫婦仲良く末永く一家の和合を御加護頂ける功德を表しています。巾着は財宝で商売繁盛を表し、境内のあちこちに大根と巾着のシンボルを見ることができます。

【今戸神社】後冷泉天皇康平六年(1063年)、時の奥羽鎮守府將軍伊豫守源頼義・義家父子が、勅令によって奥州の夷賊安部貞任・宗任の討伐の折、篤く祈願し、鎌倉の鶴ヶ岡と浅草今之津(現在の今戸)とに京都の石清水八幡を勧請したのが今戸八幡(現在の今戸神社)の創建になります。

【白髭神社】白髭神社の御祭神・猿田彦大神さまは、道案内・導きの神としての御神徳が高く、商売繁昌の神様として、また方角を感知されることより方災厄除けの神様として広く崇敬されております。

【向島百花園】江戸の町人文化が花開いた文化・文政期(1804～1830年)に造園。庭を造ったのは、骨とう商の佐原鞠塙(さはらきくう)。交遊のあった江戸の文人墨客の協力を得て、旗本、多賀氏の元屋敷跡に、花の咲く草花鑑賞を中心とした「民営の花園」を造りました。

【石浜神社】聖武天皇の神亀元年(724年)勅願によって鎮座され、以来1297年の歴史を持っています。文治5年(1189)、源頼朝の奥州征討に際しての社殿の寄進、弘安4年(1281)、蒙古襲来の折、必勝を祈念しての、鎌倉將軍家お取り次ぎによる官幣(かんぺい:天皇から神に捧げる礼物)のご奉納などを経て、中世初めには大社としての発展を見ました。